



中村俊定
文庫 18

中村俊定文庫
文庫 18
680



六 渚 奴 一 毛
 多 禮 曾 登 於
 婦 一 路 卷
 二 來 奈 利



夕顔

夕顔 東武 樓川
 夕顔 同 雞口
 夕顔 同 幽雲齋 九簾
 夕顔 同 深川 雜日 芥 不二 研
 夕顔 同 折敲 芥 菊露
 夕顔 同 素外 連 還童
 夕顔 同 卜人
 夕顔 同 素云



文部省の... 篠の酒

志慶

文部省の... 勇の喜

洛滄浪居 嘯山

文部省の... 法白樂

同 鈴山堂 賈友

文部省の... 錦の米

同行葺 同 春鷗 未之

文部省の... 錦の米

同 春鷗 未之

五条村の... 錦の米

文部省の... 蝶夢 園更

○

文部省の... 一幌子

文部省の... 笑牛

文部省の... 月樵

文部省の... 素輪

文部省の... 朱翁

文部省の... 士哲

文部省の... 玉江

備後福山

一声

夕々ほほ衣をまろく嘆とくころ

吐玉

ゆふほほけむと遠入朝の上

西江

夕影のそら日暮の夜明時

泔水

ゆふほほの朝智を深し白衣

波東

夕々ほほ籠りのてて塚のふ

東武

城山

ゆふほほ切めささきの侘侘居

珠月

夕影の垣根をゆき入日影

桂車

夕々ほほ入日影

長州萩

里犬

夕影の露白くはるまき

巴要

豊後日田

佳笑

夕々ほほ位うまむく古急生

佳公

夕々ほほ位うまむく程の音

魚明

夕々ほほ位うまむく毒鉄丸

青門

夕影の露の白濁のふあうち

故曉

夕々ほほ女世帯の露うま

錦川

夕影のまゆ人車の露のふと

初女

ゆふ影のこやし

謀

湖時雨

夕々ほほ露をまらむ

挑秋

ゆふ影のあそろくはるまき

静齋

文うほりふれよゆやる花の朝
 夕朝の白糸一人通る
 文うほり浴衣よと身の玉所
 文朝のさゆり紙の赤き塚
 文朝の湯茶よとあくる人もあ
 文うほりくらまた眼くらハまき
 文朝の百日こもる花のぬし
 文うほりたう持佛のうとあ
 文朝の名れも清と坊の
 文朝のうらた紙と酒入る
 吐龍
 龜洞
 覽古
 白泉
 巴陵
 其争
 金鈴
 五風
 玉羽
 卷朝

二百

同龍鼻山下

日田

在學のとたもの二瓶の紙の自在法書
 藤原の事作して紙くしとる
 何れの他長指の肩紙と紙と紙

百年の紙も紙のま向うま
 文うほりまぬのうれ薄うま
 文朝のさゆり紙の赤き塚
 文うほり浴衣よと身の玉所
 文朝の湯茶よとあくる人もあ
 文うほりくらまた眼くらハまき
 文朝の百日こもる花のぬし
 文うほりたう持佛のうとあ
 文朝の名れも清と坊の
 文朝のうらた紙と酒入る
 文うほり二日あまうの月ひさ
 文泉
 徐嶺
 儿谷
 二竜
 五嶺
 虎友
 石秀
 辰雄

豊後日田

西山

南山

南山

西山

西山

西山

西山

待つに夕顔 さらし 如潮

夕顔 門をとり 改 桑 瓜 柳 西山 梅夫

夕顔 海を渡る 魚舌 高野

夕顔 花をかくし 百鷲 右田

夕顔 花のふり 芝蘭 播州姫路

夕顔 花を咲かす 蒼山 豫守和島

夕顔 花を咲かす 石狐 但馬養父

夕顔 花を咲かす 如竹 播明石

夕顔 花を咲かす 桃我 泉佐野

夕顔 花を咲かす 尺龍

夕顔 花を咲かす 平話房 越前福井

夕顔 花を咲かす 顧什 阿波富岡

夕顔 花を咲かす 機頼 伯耆米子

夕顔 花を咲かす 許伯

夕顔 花を咲かす 理々

夕顔 花を咲かす 芦丈

夕顔 花を咲かす 桂花

夕顔 花を咲かす 柳下

夕顔 花を咲かす 貫龍

夕顔 花を咲かす 良夜坊

夕ヨ日ヒも夕ヨのノ舎ヤりリ由ユ 伯米子 春ハル蟻アリ

夕ヨ白ハクのノ朝アサ露ツキのノ暮ヨのノ暮ヨ 日 籟サイ之ノ

夕ヨのノ川カハへヘ上ノりリ 日 春ハル紫ムラサキ

夕ヨのノ影カゲのノらラうウ 日 未ミ賃チ宿シュク

夕ヨのノ白ハクのノ月ツキのノ澄スミむム 日 豔エン

夕ヨのノ影カゲのノ借カりリ 日 行ユク因イン舎シャ 僧

夕ヨのノ影カゲとトもモ 日 名ナもモ 日 人ヒトのノ妻メ

夕ヨのノ影カゲ指サシくク 日 背セのノおオと 豊後大飼 芦アシ舟フネ

夕ヨのノ影カゲ降フりリ 日 のノ庭ニワてテ 作及 土ツチ字ジ

夕ヨのノ影カゲ白ハクのノ影カゲ 日 風カゼ 豊州松江 倭ヤマト川カハ

夕ヨ影カゲ夕ヨ月ツキ 日 志シらラ 日 萩ハギのノ乳ニ

夕ヨのノ影カゲ 日 壳カのノ名ナ 日 も 日 袖スリーブのノ下カ

夕ヨのノ影カゲ 日 芳ヨシ土ツチのノ少コ 日 家イヘのノ影カゲ

夕ヨのノ影カゲ 日 いイまマ 日 ちチ 日 入イりリ 日 紙シ 日 片ヘ 日 くク 日 と

夕ヨのノ影カゲ 日 迷マヨひヒ 日 子コ 日 のノ親オヤ 日 のノ志シ 日 も 日 ちチ 日 も

夕ヨのノ影カゲ 日 とトいイふフ 日 名ナ 日 も 日 志シ 日 も 日 ちチ 日 も

夕ヨのノ影カゲ 日 連ツ 日 よヨ 日 っツ 日 っツ 日 下カ 日 口クチ

夕ヨのノ影カゲ 日 鳥トリ 日 鬼オニ 日 のノ 伺ウカガ 日 死シ 日 垣カキ

夕ヨのノ影カゲ 日 秋アキ 日 をヲ 日 千チ 日 ちチ 日 っツ 日 成ナ 日 り

夕ヨのノ影カゲ 日 竹タケ 日 おオ 日 くク 日 ちチ 日 っツ 日 ちチ 日 暮ヨ 日 のノ 庭ニワ 日 根ネ

壽山

一卧

奇盛

哥蛙

池清

伯米子

春蟻

籟之

春紫

孝鳥

豔

素石

家卜

尾蒼菴

芦舟

土字

倭川

何虹

蘆葉

和風

稻蝟

黎慶

池清

哥蛙

奇盛

一卧

壽山

夕の白く鐘の音もささるる色 讀州子松庄 九川

夕の影の圓の影のまはりのまはり 日金毘羅 冬里

夕の影の迷ふ尋る人のまはり 日象山下 梨山

夕の影の影のまはりのまはり 日 風頌

夕の影のまはりのまはりのまはり 日 泰川

夕の白く影のまはりのまはり 日仁保 指馬

夕の影の影のまはりのまはり 肥前唐津 日良坊

夕の影の影のまはりのまはり 日 鳳竹

夕の影の影のまはりのまはり 日 浮澗

夕の影の影のまはりのまはり 日 奇峯

夕の影の影のまはりのまはり 英陽夕留米 暁琵琶

夕の影の影のまはりのまはり 日 羨平

夕の影の影のまはりのまはり 日 文角

夕の影の影のまはりのまはり 日 荅紅

夕の影の影のまはりのまはり 日 米州

夕の影の影のまはりのまはり 日 金挑

夕の影の影のまはりのまはり 日 白曉

夕の影の影のまはりのまはり 日 葵足

夕の影の影のまはりのまはり 日 湖要

夕の影の影のまはりのまはり 日 洞明

△
△

夕形 兔轡の おとろ 水 日 柿葉

夕形 白起ろくとも 焚 垢 日 仙調

夕形 治の危め 中内とろ 日 蘿月

夕形 ささき 治の危め 中内とろ 日 東義

夕形 あめく 白起ろくとも 焚 垢 日 龍山

夕形 縦の 花月 三日の 月 日 市峰

夕形 提て 出まされ 神 宿 日 素牛

夕形 明日の 花月 三日の 月 日 馬十

夕形 捨ろくとも 焚 垢 日 其争

夕形 ささき 治の危め 中内とろ 日 鳥雪

夕形 あめく 白起ろくとも 焚 垢 日 女さそ

夕形 物 鎌刀 自ろくとも 焚 垢 日 花雪

夕形 ささき 治の危め 中内とろ 日 和國

夕形 らろくとも 焚 垢 日 栗水

夕形 ささき 治の危め 中内とろ 日 民女

夕形 ひろくとも 焚 垢 日 沙明

晉うの 幸に とも

夕形 ささき 治の危め 中内とろ 日 露竹

夕形 ささき 治の危め 中内とろ 日 龍歩

夕形 ささき 治の危め 中内とろ 日 楚曉

夕影のさかろく 暮ひしら
 夕影の急よのそれ 影の内
 夕影の袖々 休ふよ 夏むとふ
 夕影の車 蹴きぬ 糸の 尾
 夕影の 喉うろちと 喉うろち
 夕影の 女亭ろの 影の 彼
 夕影の 雲をさる 西条の
 夕影の 花をさる 鏡の 鬼とさく
 夕影の けさる 鏡の 鬼とさく
 夕影の とらぬ 垣ぬら 夕暮す

南湖
 翠峩
 其舟
 騎竜
 可同
 杜陵
 芦水
 仙里
 分吞
 潤山

△大

夕影の 夕暮をさる ぬ片折戸
 夕影の 波をさる 伊の 日とさく
 夕影の 夕暮をさる 垣の内
 夕影の 袖々 糸とさる 夕暮す
 夕影の 陰よ 夏暮す 管とさく
 夕影の 猫 鳴ふ 尾の 右とさく
 夕影の 夕暮をさる 清仙
 夕影の 夕暮をさる 賜錦
 夕影の 夕暮をさる 女龍
 夕影の 夕暮をさる 富英

如友
 沓中
 知洞
 壽風
 有蘭
 如舟
 清仙
 賜錦
 女龍
 富英

雲州松江

備中松山

同 妹尾

南紀若山

夕影下 垣根上 跡る 背の おと

車律

夕影下 跡 森さく 好 床の上

来之

夕影下 ささげ 葉の の ささきを ち

桐雄

夕影下 垣根も ともに 夕 附 日

秋橋

おそれく 嘆 夕影下 日 うら ち 経

卯十

夕影下 い 川を うと ち ち 記 葺の 記

鹿直

夕影下 や おと ち (ふ 里を ち ち

其北

夕影下 思 ち ち ち 成 笑 ち ち ち

員笛

夕影下 驚 ち ち ち ち 古 瓦

甘雪

夕影下 ち ち ち ち ち ち ち 残

尊尔

夕影下 稀 ち 人 傍 ち 窓の 先

馬凌

夕影下 下 伏 指の ち ち ち ち

亀十

夕影下 あ ち ち ち ち ち ち ち

露夕

葉 ち ち ち ち ち ち ち ち

千角

夕影下 ち ち ち ち ち ち ち ち

雨恩

夕影下 葉 ち ち ち ち ち ち ち

春塘

夕影下 ち ち ち ち ち ち ち ち

如雷

夕影下 ち ち ち ち ち ち ち ち

飛川

夕影の ち ち ち ち ち ち ち ち

大羽

夕影下 ち ち ち ち ち ち ち ち

雷師

夕顔や空家うつもの甘むし

豊後七津

千條

夕顔や下り葉又銀紙ぬき

同高松

楚江

夕顔や身証顧る時やうら

同三佐

田表

夕顔や月よ指さそ花いく川

同

龜遊

夕顔や速よ芝ぬ新のこゑ

同

門隣

夕顔やむし味よ二日月

同

富陽

夕顔やうきあしき木さつた

同豊津原

鬘玉

夕顔や端下さきさき花もさ

同

蒼東

夕顔や管あしき花ののき

同

蒼柳

夕顔やえきあしき二日月

同

如石

夕顔やうきあしき人こゑ

豊後鶴崎

破笠

夕顔や高とあむしきあしき

同

柯東

夕顔や下りあしきあしき

同

寸波

夕顔やうきあしきあしき

同

龜童

夕顔や蟠蟠しきあしき

同

君山

夕顔やあしきあしきあしき

同

蒼路

夕顔やひとうさあしきあしき

同

推之

夕顔やあしきあしきあしき

同

梧仲

夕顔やあしきあしきあしき

同

梅明

夕顔やあしきあしきあしき

同

儿耕

夕影心のを記 垣の内 其一

夕影心 庭のうへと 花 与州入野 時風

夕影心 依るうへと 葉の下 結の法 同宇和島 兔管

夕影心 子履干し 柳の結 伯州上五連 其流

夕影心 子と彼 弓の足 同 薰里

夕影心 隣、澄る 山崎 梅鑑

夕影心 庭かき 瓦を根 同 花酔

夕影心 親子か 川の端 同 掉歌

夕影心 おく 記 隣 赤崎 器柳

夕影心 岩と 積 菊塚 同 冠李

夕影心 隣と 二二三 所 作州勝山 稻友

夕影心 夢の け 記 意の下 同 屋鳥

夕影心 意の け 記 意の下 同 里翠

夕影心 大雲ひ 澄る 柳の下 伯州川岡 蘭玉

夕影心 意の け 記 意の下 同 久古 沼菖

夕影心 男 記 記 新 豊後高田 魯々

夕影心 意の け 記 意の下 同 豊後高田 春坡

夕影心 庭かき 記 意の下 同 山離

夕影心 庭かき 記 意の下 伯州寺内 空抹石

夕影心 庭かき 記 意の下 洛 菊叟

又形やその日も老てゑ年 豊後三佐 駒秀

いぬりけさ

方四寸の田形うて其色けい未さう梅檀の本
層うらも程こほやふ疎れらめくく才匠之
層さふアまう

又形や一詞のこも 花の着 晋子

折りの折の折をかきり宅善法の時よ大
工の一編よしたの切くせまのまを
指車のやうて指ひとく 一句紙荷端
うく 葉あのかげよけく 日く 紙

常法をきんを流さる体の一室よふあれ
かて固き薄くくはくく 角籠常法に於一日の
休もく一白紙をまわけて思飯折くくはく
群血中養粒く辛苦の吹を直く下思

大名も文うはさくハ折の法法 心水う句

醍醐の自土さる紙まく

細師の自画 琴よ

しろ形よま橋 染むままかへ

唯その分ら文形常形もあをを福の幸性紙
たくい紙をまくく けたの紙まく 一たのま

往々其の甘を味ふなり

まろろ一系類にまろろの玉戸たらのめ法一

かき酒をうかぬかき酒をうかぬかき酒をうかぬ

て吞め酒をもあをたなをうかぬかき酒をうかぬ

南無阿彌陀佛とてうかぬかき酒をうかぬ

とて一杯のもよみかき酒をうかぬ

四種の香もかき酒のうかぬかき酒をうかぬ

流るる酒もかき酒のうかぬかき酒をうかぬ

けりとおくかき酒のうかぬかき酒をうかぬ

まろろ一系類にまろろの玉戸たらのめ法一

一代の法をうかぬかき酒のうかぬ

まろろ一系類にまろろの玉戸たらのめ法一

右銀酒一級起信を のうかぬ

衆心まろろの法をうかぬかき酒のうかぬ

衆心まろろの法をうかぬかき酒のうかぬ

まろろ一系類にまろろの玉戸たらのめ法一

まろろ一系類にまろろの玉戸たらのめ法一

あま類のまろろを飯喰ふにあたり

まろろ一系類にまろろの玉戸たらのめ法一

まろろ

まろろ

まろろ

かゝるゝとそとらうの花貌

伯馬佐良

舊蟻

夕形 花をこぼさすやまき

日

蘭梁

夕形 姨々 剛の助

日法勝寺

文虹

夕形 妹々 玉々

日

賀友

夕形 差々 淡白

日倉吉湖月寺

春亀

夕形 折舟

日

蘭昇

夕形 表々 所宗

日

湖舟

夕形 縁高

日

青波

夕形 而々 女の禱

日

卜志

夕形 膏か

日

巴龍

夕形 湯か

日

可夕

夕形 皆山

日

蟻角

夕形 小坊

日

可也

夕形 頃

和州今井

可得

夕形 高

日

其旬

夕形 白

日

魯脚

夕形 戸

日

漱石

夕形 屋

豊後白井無井

嗅英

夕形 坂

日佐伯

東堂

夕形 戸

日

宇寸

夕影の暁をかくる日の白ひ 豊後植田 清泉
 夕影の暁をかくる日の白ひ 和州高取 雨律
 夕影の暁をかくる人のまかり浴衣 日 孤潮
 夕影の暁をかくるを寮の鶴 日 圭、
 夕影の暁をかくるの卯と咲 日 湖山 湖水
 夕影の暁をかくる石燈籠 日 高取 吉丸
 夕影の暁をかくる一木 日 小泉 枝條
 夕影の暁をかくる塔 日 丹波龜山 求己
 夕影の暁をかくるあき畑 日 伊勢山田 蘭風
 夕影の暁のおとせ 日 播新宮 白橋

夕影

對晋子白鷄之句

夕影の暁をかくる梅之室 不二葺
 夕影の暁をかくるおとせ 梅之室
 夕影の暁をかくるおとせ 一炊葺
 夕影の暁をかくる馬田江 馬田江
 夕影の暁をかくる甘子葺 甘子葺
 夕影の暁をかくる其日葺 其日葺
 夕影の暁をかくる春秋舎 在京 春秋舎

晋子の未熟種と大同門裏庭の

まろりた村子

管の種と

角筋と丸白と三日月のつぼみの
かきそのと

夕顔とこの種の愛の

慶五葺

ゆりやうりやとそらと

菊卿

夕顔と

むす女

○

福島の

大江隣

旧國

夕顔と

泉明

夕顔の隣り

蜂友

○

夕顔と

香稻葺

石室

むしと

佳及

夕顔と

羨英

ひるしの

鈎雪

幅幅と

深茂亭

夕顔と

敬居

夕顔と

一底

夕影や存あはさきハ赤らんち
夕影やうきも靱く馬のほろ
夕影や紅ハ水ノをさうそめ
夕影よ人とも衣はさうさう
夕影やそとふ糸のうさふ首
夕影や妹々肩ぬく意の内
夕影やむつしけさう文使ひ
夕影やうきその淡き古巻
夕影や討ひまう人と懐子
夕影や葉の洞紙押ひく記

南畝
氷儿
乙拙
何門
七葉衛弁
梅貫
飛蝶
怒柳
錦鶏
栗秀

暮の強御紙慕ひ情もさう旅の
ころろ紙はむむ秋のそそき
降御上秋下のたむし時をほろ
の茅廬をころろ捨紙陀ひとの袴
注記を各々印して其天紙抱てころろの海

秋の輝少年ハおさうしころろ

澄々先名 溜北

素美を穂ささうとく紙花あかん

功悠心 其角

丸古の輝も川の水の清の月

巴人

五加木酒苦もさう洞のそ

紙空先名 青流

雪あめの篇紙吹さうそめ

受松

下畧

留別の哥仙則 功悠 晋子 巴人 青流

受松 忘琴 羽光 豆人 齋通

慈お 拾一人 尾安 遠良 根一 彦河 歌とて

晋子 山嵐 雪の 簞柳の 幸あつ 其まの ことば

芭さる 奥の 面々 杖さめ ことばの 尾成 せよと

つらふ ことば ことば 杖の 格さる ことばの 徳の

ちささ 杖さる ことば 杖さる 合歡 ことば 杖さる

角氏 空井 高橋 高き 流徳 ことば 杖さる

あつた 貞し

春暖 雨が ふし ことば

きの 雙さる ことば ことば 晋子

負の 聖老 賢も ことば 全

美さる 晋後の 流徳 ことば 青流

初め ことばの 二句目

洞さる ことば 刺さる ことば 全

ことば ことばの ことば ことば 九条 崎 其角

彼童 溪 禪師の 九條 崎の 水 籠 ことば ことば

し ことば ことばの ことば ことば ことば ことば

勿 ことば ことば ことば ことば ことば ことば

た ことば ことば ことば ことば ことば ことば

日 ことば ことば ことば ことば ことば ことば

あふらうけよきしむらひのさかきつゝ
日影月影の影ハうけととも
十家船の影しつゝまらしく武庫うす
志却ささめけうと結よむとささき
海らうけよきの月影の影ささき
一人愈もよもよもよもよもよも
はらうけよきの影ささき

郁文
巴人
祇空
白雲
秋色
終々
白雲
郁文
巴人
秋色

あふらうけよきしむらひのさかきつゝ
日影月影の影ハうけととも
十家船の影しつゝまらしく武庫うす
志却ささめけうと結よむとささき
海らうけよきの月影の影ささき
一人愈もよもよもよもよもよも
はらうけよきの影ささき

都文
祇空
巴人
浴々
祇空
白雲
秋色
終々
巴人
郁文

屋根蒼青のこころよきまらとまらぬとの

白雲

さう角のねんねくけて暮らうもの

祇空

下まの浅刈らそきのよきあふひ

淡々

龍波端て考ふあつて

秋色

秋のつゆ惟暮よ夜も桜摩解り

郁文

改くもろく一糸各の谷

巴人

夏はむねとほろる葉陰ふ二三輪

祇空

さうてんまくむくれみゆのこ

白雲

夕歌

夕歌のこころよきまらとまらぬとの

秋色

夕の目もまくと浮やそ花の慾

備中松山

嵐岳

夕の目もまくと浮やそ花の慾

伯舎吉

春籬

夕の目もまくと浮やそ花の慾

日服部

亀乗

夕の目もまくと浮やそ花の慾

尾名名古屋

黙我

夕の目もまくと浮やそ花の慾

和州金井

至元

夕の目もまくと浮やそ花の慾

尾名名古屋

兔毛

夕の目もまくと浮やそ花の慾

尾名名古屋

幸己

夕の目もまくと浮やそ花の慾

尾名名古屋

哥夕

夕の目もまくと浮やそ花の慾

尾名名古屋

菊裡

夕の目もまくと浮やそ花の慾

尾名名古屋

化龍

夕_二白_一村_一一_二新_一戸_一ま_二記_一ふ 和州今井 芥調

夕_二白_一子_一ま_二あ_一ま_二の_一ま_二ま_一午_一時_一り 日 蘭犬

夕_二白_一子_一ま_二あ_一ま_二の_一ま_二ま_一井_一戸_一つ 日 巴光

夕_二白_一子_一ま_二あ_一ま_二の_一ま_二ま_一繩_一 伯倉吉 楚嵩

夕_二白_一子_一ま_二あ_一ま_二の_一ま_二ま_一行_一脚 行脚 耳順

夕_二白_一子_一ま_二あ_一ま_二の_一ま_二ま_一肥_一前_一神_一崎 肥前神崎 韞玉

夕_二白_一子_一ま_二あ_一ま_二の_一ま_二ま_一河_一及_一富_一田_一林 河及富田林 玉川

夕_二白_一子_一ま_二あ_一ま_二の_一ま_二ま_一小_一田_一輝 小田輝 浪連

夕_二白_一子_一ま_二あ_一ま_二の_一ま_二ま_一豊_一後_一用_一松 豊後用松 春馬

夕_二白_一子_一ま_二あ_一ま_二の_一ま_二ま_一阿_一州_一富_一岡 阿州富岡 舍芳

夕_二白_一子_一ま_二あ_一ま_二の_一ま_二ま_一掛_一舍 掛舍

○

夕_二白_一子_一ま_二あ_一ま_二の_一ま_二ま_一金_一芽 金芽

夕_二白_一子_一ま_二あ_一ま_二の_一ま_二ま_一烏_一律 烏律

夕_二白_一子_一ま_二あ_一ま_二の_一ま_二ま_一可_一雲 可雲

夕_二白_一子_一ま_二あ_一ま_二の_一ま_二ま_一万_一阿 万阿

夕_二白_一子_一ま_二あ_一ま_二の_一ま_二ま_一鷓_一鴛 鷓鴣

夕_二白_一子_一ま_二あ_一ま_二の_一ま_二ま_一竹_一賀 竹賀

夕_二白_一子_一ま_二あ_一ま_二の_一ま_二ま_一佳_一南 佳南

又う白くいよこ葉 芝ぬゑを命
又龍をかきくしをてきうが
又龍下あまきくしをのふ葉垣
又う白く赤きうしをうしをの板

度大
已有
鶉城
春芝

又う白の葉くはふあうり

西宮
長旧

又白くあまきくしをす

河富田林
蘆江

又う白く赤きくしをうしをの板

肥後道者
艸子

又龍柳内折きくしをうしをの板

橙五

又う白く赤きくしをうしをの板
又う白く赤きくしをうしをの板

至耕
挑我

又龍下あまきくしをうしをの板

編笛

又う白く赤きくしをうしをの板

池文

又う白く赤きくしをうしをの板

九河

又う白く赤きくしをうしをの板

蟻房

又う白く赤きくしをうしをの板

道一
伍喬

漱滌のなぐりたるや

鷺重

夕の白の孤よ半きる將基盤

廬山

○

夕の白の朝煙をさる古後達

肥州崎陽 汶江

夕の白の夜をさるすまの夜をさる

曹前長洲 白花

夕の白のやまのふりさる

河州富里 湖亮

夕の白のやまのふりさる

平野 其禿

夕の白のやまのふりさる

芽萼

夕の白のやまのふりさる

東門

夕の白のやまのふりさる

駝岳

〇〇

夕

夕

夕

